

第 6 回鹿島市下水道事業審議会 会議録（概要）

1. 日時：令和 6 年 10 月 8 日（火）10 時 00 分～ 10 時 40 分
2. 開催場所：鹿島市 新世紀センター2 階 会議室
3. 出席者
 - (1) 委員：委員 9 人（欠席 2 人）
 - (2) 事務局：山浦建設環境部長 山口環境下水道課長 橋川参事 三原補佐
横尾係長 中島係長 関主査 山口 西田
4. 内容
 - (1) 開 会
 - (2) 会長挨拶

これまで市民目線や専門的見地から議論をいただきありがとうございました。
審議会から答申として送り出す前に、しっかり詰めの議論をさせていただきたい
と思います。よろしく申し上げます。
 - (3) 議事
 - 議題 1 下水道使用料改定（案）のパブリックコメントの結果について
寄せられた意見と市の考え方（市ホームページ掲載分）を報告・説明
 - 議題 2 答申書（案）について
事務局から答申書（案）を説明。意見交換後、案のとおり了承。
 - (4) その他
 - (5) 閉会

【議事 意見】

議題 1

会長：寄せられた意見の中に「背景は理解できるけど気持ちよく賛同はできない」とある。これはつまり、「何かメリットがあるなら賛成するけれど」という見方でされた意見だと思う。このような意見を持つ方はほかにも結構いると思う。また、ほかの意見で「通知等もなく勝手に値上がりされるとは思いませんが、通知等を徹底してい

ただきたい」という記述がある。この意見のとおり、寝耳に水のような値上げは避けたい方がいい。市は「コミュニケーション政策」を重視すべき。潜在的に賛成してくれる方々もいらっしゃるけれども、市のやり方によっては反対しかねないということになる。料金改定などの施策は、やっぱり値上げされる側の気持ちを考えて、どういう手順を踏んで通知をしていくかということはよく考えたほうがいい。

議題2

委員：附帯意見の中の「接続人口の動向」という表現があるが、下水道使用者を増やさないと、接続外の方々の税金を使わせてもらうということにつながるので、何とかしてこの接続人口を増やす方策をもう少し検討された方がいい。

会長：答申書の内容や表現等について、特にご意見がないようであれば、この答申書を審議会の答申として市に提出することとします。これで、この答申は審議会から離れるわけですが、これからは市の動向をしっかりと見ながら、必要なときは必要な声を上げていくようにお願いします。